



PRESS RELEASE (2018/03/02)

吉野彰客員教授、日本国際賞 (Japan Prize) 受賞記念講演会を九州大学筑紫キャンパスにて開催

2015年10月よりエネルギー基盤技術国際教育研究センター(以下、「エネ基盤センター」という)客員教授として着任いただいている吉野彰先生のリチウムイオン電池開発における多大な貢献に対して、2018年4月18日(水)国立劇場にて天皇皇后両陛下ご臨席のもと、第34回日本国際賞 (Japan Prize) が授与されます。本受賞を記念し、エネ基盤センターでは受賞記念講演会を下記の日程で開催いたします。これは、3月末で九州大学を退職される吉野彰先生の最終講義でもあります。

当日は3月10日(土)電気化学会第85回大会にて女性躍進賞と論文賞を受賞する喜多條鮎子助教、中本康介学術研究員のそれぞれの受賞対象となったポストリチウムイオン電池材料についての講演も合わせて行います。

＝ エネルギー基盤技術国際教育研究センター受賞記念講演会 ＝

場 所:九州大学筑紫キャンパス(春日市春日公園 6-1) 共通管理棟3階大会議室

日 時:平成30年3月7日(水)10:00～12:00(予定)

内 容:

10:00～ 大瀧 倫卓 エネ基盤センター長挨拶

10:05～ 喜多條 鮎子 助教「次世代蓄電池の構築を目指したレアメタルフリー正極材料開発」

10:35～ 休憩

10:45～ 吉野 彰 客員教授「リチウムイオン電池の開発を振り返って」

11:45～ 中本 康介 学術研究員「プルシアンブルー類縁電極活物質を用いた高濃度水系ナトリウムイオン電池」

エネルギー基盤技術国際教育研究センター 岡田重人教授より:昨今、EU や中国、インド各国が次々と2030年までにガソリン車販売禁止を宣言し、自動車メーカーもそれに追従してEVシフトを急ぐ中、日本とパリ協定離脱を表明したトランプ政権だけが世界から取り残された感があります。今回の吉野先生の日本国際賞受賞は今日のEVブームの発信源がリチウムイオン電池誕生の地、蓄電立国日本であることを今一度世界にアピールするいい機会になると思います。

表. リチウムイオン電池誕生までの軌跡と吉野彰先生の寄与(敬称略)



吉野彰エネルギー基盤技術国際教育センター客員教授

| 年代 | 正極 | 負極 |
|------|--|---|
| 1967 | | 東工大白川英樹、ポリアセチレン薄膜合成 |
| 1976 | | MacDiarmid, Heeger, ドーピングによるポリアセチレンの6桁高導電化に成功 |
| 1980 | LiCoO ₂ 正極の水島公一(現東芝)-Goodenough論文発表 | MacDiarmid, Heeger, ポリアセチレンへの電気化学的イオン吸蔵放出に成功 |
| 1981 | | 京大福井謙一、フロンティア電子論でノーベル賞 三洋池田宏ノ助らが炭素負極の特許出願 |
| 1982 | | Yazamiが黒鉛への可逆Li挿入脱離に成功 |
| 1983 | 旭化成吉野彰ら、LiCoO ₂ 正極とn型ポリアセチレン負極を組んで可逆動作成功 | |
| 1986 | 旭化成吉野彰ら、LiCoO ₂ 正極と炭素負極のLiイオン電池特許2668678号出願 | |
| 1991 | 吉野特許を元にソニーエナジーテック西美緒氏ら、Liイオン電池の市販化に成功 | |
| 2000 | | MacDiarmid, Heeger, 白川先生にノーベル賞 |
| 2001 | Liイオン電池用正極材料開発の功績でGoodenoughに第17回日本国際賞 | |
| 2014 | Liイオン電池の業績でGoodenough, Yazami, 吉野, 西4氏にCharles Stark Draper賞 | |
| 2018 | Liイオン電池開発の功績で吉野彰九大客員教授、第34回日本国際賞受賞 | |

【お問い合わせ】 エネルギー基盤技術国際教育センター 教授 岡田重人
電話:092-583-7841 FAX:092-583-7841
Mail:s-okada@cm.kyushu-u.ac.jp



九州大学

エネルギー基盤技術国際教育研究センター

日本国際賞 受賞記念講演会

筑紫キャンパス 春日市春日公園 6-1 共通管理棟3階 大会議室

10:00~10:05

大瀧 倫卓 エネ基盤センター長挨拶

10:05~10:35

喜多條 鮎子 助教

「次世代蓄電池の構築を目指したレアメタルフリー正極材料開発」

(電気化学会女性躍進賞受賞記念講演)

10:35~10:45

休憩

10:45~11:45

吉野 彰 エネ基盤センター客員教授

「リチウムイオン電池の開発を振り返って」

(第34回日本国際賞受賞記念講演)

11:45~12:00

中本 康介 学術研究員

「プルシアンブルー類縁電極活物質を用いた高濃度水系ナトリウムイオン電池」

(電気化学会論文賞受賞記念講演)

2018.03

7 wed.